

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月30日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社ダスキン

コード番号 4665 URL <http://www.duskin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山村 輝治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 鶴見 明久

TEL 06-6821-5071

四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	45,567	△2.9	3,403	△12.2	3,859	△15.2	1,619	△15.5
21年3月期第1四半期	46,922	—	3,876	—	4,552	—	1,916	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	24.23	—
21年3月期第1四半期	28.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	191,140	143,194	74.5	2,129.38
21年3月期	194,653	143,322	73.2	2,130.52

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 142,322百万円 21年3月期 142,401百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	0.00	—	40.00	40.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	92,900	△1.0	3,900	△36.0	4,600	△37.0	2,000	△27.9	29.77
連結累計期間	186,000	△1.4	9,500	△22.8	11,000	△24.1	6,000	△7.1	89.32

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更 | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第1四半期 | 67,394,823株 | 21年3月期 | 67,394,823株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第1四半期 | 557,128株 | 21年3月期 | 555,885株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第1四半期 | 66,838,142株 | 21年3月期第1四半期 | 67,184,362株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想に関しましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業績の変化等により異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期(平成21年4月1日～平成21年6月30日)における我が国の経済は、一部に回復の兆しがあるものの、依然として下振れリスクを抱え、先行き不安が根強い中、大変厳しい状況のまま推移しました。

このような厳しい環境の中、中期経営方針「共生と飛躍」の最終年度である当期は、お客様視点に立った積極的な営業を行い既存事業で平成21年3月期(以下、前期)並みの売上を確保することを目指しております。しかしながら、企業収益が大きく悪化するもとの、特に事業所向けサービスは厳しい市場環境が続いており低調に推移しました。

また、雇用、所得環境の悪化が消費者の節約志向、低価格志向へと繋がり、フードサービスを含む一般ご家庭向けサービスも最悪期は脱した感があるものの厳しい状況は続いております。

以上の結果、当第1四半期の業績は、連結売上高455億67百万円(前年同期比2.9%減)、連結営業利益34億3百万円(前年同期比12.2%減)、連結経常利益38億59百万円(前年同期比15.2%減)、連結四半期純利益16億19百万円(前年同期比15.5%減)となりました。

[事業の種類別セグメント毎の状況]

(1) 愛の店関連事業

当社の基幹事業であるクリーンサービス事業を中心とする訪問販売事業においては、お客様窓口の一本化(ネットワーク計画)を進めると共に、地域に根ざした小商圏での活動に注力しております。しかしながら、市場環境は依然として厳しく、家庭市場、事業所市場とも売上は減少しました。

家庭市場は、新規顧客の獲得は低水準にとどまりましたが、既存のお客様への満足度向上施策の推進等により売上の減少幅は小さくなっております。その中におきましては、アレル物質抑制成分配合モップ、レンジフード等に設置するフィルター商品、ふとん丸洗いサービスは堅調に推移しました。

事業所市場は、家庭市場と同様に新規顧客の獲得が低水準にとどまり減収となりました。しかしながら、昨秋以降の不況の影響で増加傾向にあった既存のお客様の解約件数は前年同期並みまで減少しました。そのような状況下で、一部の衛生関連商品売上は増加したものの、その他の商品は前年同期の売上を下回りました。

ヘルス&ビューティ事業は、前期から引き続き「デュープリエ」は好調に推移しましたが、その他の商品が前年同期を下回り、事業全体の売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、愛の店関連事業の売上高は251億6百万円(前年同期比4.6%減)、営業利益は51億7百万円(前年同期比1.0%減)となりました。

(2) フードサービス事業

ミスタードーナツ事業は、引き続きバラエティ感とお手ごろ感を訴求し、順調に推移しました。5月にはドーナツ17種を一斉に新商品に入れ替えて発売し、また前期のブレンドコーヒーに続いてアイスコーヒーの高品質化も実施、更には株式会社モスフードサービスとのコラボレーション商品第2弾「ドーナツバーガー」「ポテド」を発売し、何れもお客様から大変高い支持を得ております。その結果、お客様売上は前年同期を上回り、原材料売上、ロイヤルティ売上とも増加しました。

その他のフードサービス事業は、お客様数の減少による既存店の低迷に加え、不採算店舗の閉鎖に伴う店舗数の減少により、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、フードサービス事業の売上高は134億13百万円(前年同期比4.8%増)、営業利益は11億96百万円(前年同期比4.3%減)となりました。

(3) ケアサービス事業

ケアサービス4事業(サービスマスター、メリーメイド、ターミニックス、トゥルグリーン)は、接客マナーや技術の向上を図ると共に、定期的にご利用いただくお客様作りに徹底して取り組んでおりますが、サービスマスターの事業所用メニューのお客様売上が前年同期を下回ったことを主因として、ロイヤルティ売上が減少する等、売上高は前年同期を下回りました。

高齢者支援サービスのホームインステッド事業(公的介護保険制度ではないプライベートサービス)は、お客様売上は順調に増加しロイヤルティ売上は増加しました。しかしながら直営店が減収となり、その結果事業全体の売上高は減少しました。病院施設のマネジメントサービスの株式会社ダスキンヘルスケアは、前期中の新規顧客獲得により、前年同期に比べサービス提供施設数が増加し、また提供サービス数も増え、売上高は前年同期を上回りました。

その他、平成21年4月1日に株式会社ダスキンゼロケアで展開しておりました介護保険法による介護サービス事業を株式会社ニチイ学館へ事業譲渡した影響もあり、ケアサービス事業の売上高は46億36百万円(前年同期比11.3%減)、営業損失は3億76百万円(前年同期の営業損失は93百万円)となりました。

(4) その他事業

レントオール事業は、介護関連用品のレンタルを行うヘルスレント店が順調に推移したことによりお客様売上は増加し、ロイヤルティ売上は増加しました。しかしながら直営店は、不採算店の統廃合による店舗数の減少で売上が減少し、事業全体の売上高は前年同期を下回りました。また、ユニフォームサービス事業、ドリンクサービス事業、リース事業のダスキン共益株式会社は、前年同期の売上を下回りました。

また、前期に引き続き新規事業の発掘・開拓にも注力し、当第1四半期においては、新たに靴のクリーニング・リペア事業「シーズン」の第1号店を5月にオープンしました。

以上の結果、その他事業の売上高は24億10百万円（前年同期比6.2%減）、営業損失は36百万円（前年同期の営業利益は35百万円）となりました。

なお、上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は、1,911億40百万円となりました。前連結会計年度末（以下「前期末」という）と比較して35億12百万円減少しております。その要因は、商品及び製品が10億23百万円増加したことに対し、永久劣後債償還等により投資有価証券が17億90百万円減少したことや、現金及び預金が10億79百万円、繰延税金資産が9億93百万円、受取手形及び売掛金が5億66百万円減少したこと等であります。

負債合計は479億45百万円となり、前期末と比較して33億85百万円減少しております。その要因は、未払金が25億31百万円、賞与引当金が10億36百万円減少したこと等であります。

純資産合計は1,431億94百万円となり、前期末と比較して1億27百万円減少しております。その要因は、投資有価証券の時価の回復によりその他有価証券評価差額金が9億26百万円増加したことに対し、四半期純利益16億19百万円と剰余金の配当26億73百万円との差引等により利益剰余金10億54百万円の減少したこと等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）の業績予想に関しましては、平成21年5月15日に公表致しました従来の予想を変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項ありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

③繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法により算定しております。

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①税金費用の計算

連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項ありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,762	20,841
受取手形及び売掛金	12,082	12,649
リース投資資産	1,819	1,794
有価証券	8,434	8,351
商品及び製品	6,882	5,859
仕掛品	147	158
原材料及び貯蔵品	1,970	1,755
繰延税金資産	1,932	2,232
その他	2,256	1,804
貸倒引当金	△226	△221
流動資産合計	55,062	55,226
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	38,456	37,754
減価償却累計額	△20,595	△20,365
建物及び構築物(純額)	17,861	17,388
機械装置及び運搬具	20,795	20,759
減価償却累計額	△13,774	△13,576
機械装置及び運搬具(純額)	7,021	7,182
土地	23,559	23,559
建設仮勘定	611	1,168
その他	13,341	13,610
減価償却累計額	△9,678	△9,666
その他(純額)	3,663	3,944
有形固定資産合計	52,716	53,244
無形固定資産		
のれん	468	577
その他	5,911	5,941
無形固定資産合計	6,379	6,519
投資その他の資産		
投資有価証券	57,557	59,348
長期貸付金	176	183
繰延税金資産	8,171	8,864
差入保証金	10,026	10,204
その他	1,123	1,137
貸倒引当金	△72	△74
投資その他の資産合計	76,981	79,663
固定資産合計	136,077	139,426
資産合計	191,140	194,653

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,397	7,756
1年内返済予定の長期借入金	163	175
未払法人税等	880	554
賞与引当金	1,950	2,986
ポイント引当金	562	565
未払金	5,424	7,956
レンタル品預り保証金	11,043	11,281
その他	4,472	4,171
流動負債合計	31,895	35,447
固定負債		
長期借入金	6,030	6,065
退職給付引当金	8,870	8,580
役員退職慰労引当金	18	59
債務保証損失引当金	138	146
長期未払金	141	142
長期預り保証金	836	844
負ののれん	—	43
その他	13	2
固定負債合計	16,050	15,884
負債合計	47,945	51,331
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,352	11,352
資本剰余金	13,076	13,076
利益剰余金	120,815	121,869
自己株式	△845	△843
株主資本合計	144,398	145,454
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,657	△2,583
繰延ヘッジ損益	△26	△26
為替換算調整勘定	△392	△442
評価・換算差額等合計	△2,075	△3,052
少数株主持分	872	920
純資産合計	143,194	143,322
負債純資産合計	191,140	194,653

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	46,922	45,567
売上原価	25,940	24,807
売上総利益	20,981	20,759
販売費及び一般管理費	17,105	17,356
営業利益	3,876	3,403
営業外収益		
受取利息	272	175
受取配当金	111	100
設備賃貸料	298	282
受取手数料	48	48
負ののれん償却額	43	43
営業権譲渡益	3	—
雑収入	215	152
営業外収益合計	994	804
営業外費用		
支払利息	26	19
設備賃貸費用	85	83
たな卸資産評価損	24	—
たな卸資産廃棄損	5	—
持分法による投資損失	144	229
雑損失	32	16
営業外費用合計	318	348
経常利益	4,552	3,859
特別利益		
固定資産売却益	0	—
貸倒引当金戻入額	11	2
債務保証損失引当金戻入額	—	8
損害賠償金収入	—	57
その他	12	42
特別利益合計	24	111
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産廃棄損	42	90
減損損失	61	16
投資有価証券評価損	638	500
関係会社株式売却損	—	86
債務保証損失引当金繰入額	29	—
その他	13	11
特別損失合計	785	705
税金等調整前四半期純利益	3,791	3,265
法人税等	1,908	1,657
少数株主損失(△)	△33	△12
四半期純利益	1,916	1,619

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

(単位:百万円)

	愛の店関連 事業	フードサー ビス事業	ケアサービ ス事業	その他事業	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	26,322	12,801	5,228	2,569	46,922	—	46,922
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	4	0	15	750	771	(771)	—
計	26,327	12,801	5,244	3,320	47,693	(771)	46,922
営業利益又は営業損失 (△)	5,160	1,250	△93	35	6,353	(2,476)	3,876

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

(単位:百万円)

	愛の店関連 事業	フードサー ビス事業	ケアサービ ス事業	その他事業	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	25,106	13,413	4,636	2,410	45,567	—	45,567
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	0	0	16	690	706	(706)	—
計	25,107	13,413	4,652	3,100	46,274	(706)	45,567
営業利益又は営業損失 (△)	5,107	1,196	△376	△36	5,889	(2,486)	3,403

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。